



散布日	散布時期 定植からの日数	散布薬剤 (水 10ℓ当り)	濃度	散布量 1a 当り	発生病害虫	注意事項
/	直後	①オルトラン粒剤	-	600 g	アブラムシ類、ヨトウムシ類 アザミウマ類 (ネキリムシ類)	①カブラヤガ等ネキリムシ類は、朝夕の涼しい時が捕殺しやすい。地際から倒れて立枯症状の株は同心円状に掘り確認する。
/	直後	①展着剤 ハイテンパワー (1mℓ) オーソサイド水和剤 80 (16.6 g)	10,000 倍 600 倍	30ℓ	立枯病	①地表面にもたつぷりと散布を行う。
/	20 日後 生育期	②オンコル粒剤 5	-	600g	アザミウマ類、(ミカンキイロアザミウマ)、(コガネムシ類)	①食害発生によるウイルス病発生に注意する。 ②立枯病予防としてリゾレックス水和剤 1,000 倍を株元に散布してもよい。 ③排水性を整え根腐病予防の対策を行う。
/	40 日後 抽苔期	③展着剤 ハイテンパワー (1mℓ) トップジンM水和剤 (6.6g) オルトラン水和剤 (10g)	10,000 倍 1,500 倍 1,000 倍	20ℓ	菌核病、(灰色かび病)、(立枯病) アブラムシ類、アザミウマ類、 ヨトウムシ類、アオムシ	①トップジンM水和剤は、地表面にもたつぷり散布し、立枯病の発生を抑制する。 ②抽苔期は、ウイルス症状が発生しやすいため誘引粘着シート使用も行き、アブラムシ類、アザミウマ類の予防に努める。
/	55 日後 生育期	④展着剤 ハイテンパワー (1mℓ) アクタラ顆粒水溶剤 (5g)	10,000 倍 2,000 倍	20ℓ	ハモグリバエ類、(コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類)	①アクタラ顆粒水溶剤は、葉への吸液性がよいため、葉巻害虫の効果が高く、耐雨性もある。代替品:アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍 ②ヨトウムシ類の発生がある場合は、プレオフロアブル 1,000 倍を代用する。
/	55 日後	④ユニフォーム粒剤		1.8kg	立枯病、(疫病)	①ユニフォーム粒剤は浸透移行するため立枯病予防として株元に散布する。
/	70 日後 生育期	⑤展着剤 ハイテンパワー (1mℓ) オーソサイド水和剤 80 (16.6g) ノーモルト乳剤 (5mℓ) コルト顆粒水和剤 (2.5g)	10,000 倍 600 倍 2,000 倍 4,000 倍	30ℓ	立枯病、茎腐病 アブラムシ類、コナジラミ類、 (チャノキイロアザミウマ)、ヨトウムシ類	①コルト顆粒水和剤は、速効的な殺菌作用がある。(防虫剤に優れる)代替品:トレボン乳剤 1,000 倍 ②ノーモルト乳剤は耐雨性(水による低下の心配がない)、残効性が優れているが、効果は遅いため害虫発生直前にプレオフロアブル 1,000 倍を使用する。殺菌剤 ③オーソサイド水和剤 80 は地際にも散布
/	85 日後 生育期	⑥展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) トップジンM水和剤 (6.6g) アクセルフロアブル (10mℓ)	10,000 倍 1,500 倍 1,000 倍	30ℓ	菌核病、斑点病 オオタバコガ	①トップジンM水和剤は地際にも散布 ②予防的防除が非常に重要です。 ③降雨後は、換気を行い、灰色かび病の発生の耕種的防除を行う。 ④新規構造アクセルフロアブルは、食毒のため着蕾前散布としてください。
/	95~100 日後 出蕾期	⑦展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) アフエットフロアブル (5mℓ) ディアナ SC (2mℓ)	10,000 倍 2,000 倍 5,000 倍	30ℓ	灰色かび病 オオタバコガ、ハスモンヨトウ (コナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類 2,500 倍~)	①アフエットフロアブルは予防効果に優れるため発生前散布とする。灰色かび病発生直前はアフエットに代えてピクシオDF2,000 倍を散布する(治療)。ニンニク臭がある場合がある。 ②ディアナSCは、オオタバコガ、ヨトウムシ類に卵、幼虫各ステージに効果が期待できる。 ③出蕾期以降は病害虫に注意する
/	前回散布より 1 週間後 開花期	⑧展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) ポリオキシシンAL水溶剤 (4g) ヨーバルフロアブル (3.3mℓ)	10,000 倍 2,500 倍 3,000 倍	30ℓ	灰色かび病、ハダニ類 オオタバコガ、アザミウマ類	①高温時は薬害になりやすいため涼しい時間帯に防除して下さい。 ②ヨーバルフロアブルは、広範囲の害虫に高い効果があり、残効もある。残効(予防)を高めたい場合は、ポリオキシシンをセイビアー 20フロアブル 1,000 倍 (取り寄せ) に代える。アザミウマ類が多発している場合は、アクタラ顆粒水溶剤 1,000 倍を混用する。
/	前回散布より 3 週間後 収穫直前	⑨展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) フルピカフロアブル (5mℓ) プレオフロアブル (10mℓ)	10,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	30ℓ	灰色かび病 オオタバコガ、(アザミウマ類)	①箱内病害発生を抑制するために収穫前防除は必ずおこなってください。 ②プレオフロアブルは、経口経皮にて速効性があり、残効、耐雨性もある。
/	収穫中	⑩展着剤 ブレイクスルー (1mℓ) アフエットフロアブル (5mℓ) トレボン乳剤 (10mℓ)	10,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	30ℓ	灰色かび病 ハスモンヨトウ、(アザミウマ類、コナジラミ類)	①収穫中も薬剤散布は必ず行い、「病害虫発生ゼロ」を目指す。

* 定植からの日数は、定植する時期により異なるため生育期を目安に散布する。また、灰色かび病は梅雨期及び7月上旬に発生が見られるので、変動的に散布に努める。

* オオタバコガ発生状況は、7月上旬、7月中旬、8月上旬、9月上旬のため例年多発する園地は事前の防除を心がける。

* アザミウマ類、ハダニ類、コナジラミ類は、発生初期から特別防除を行い、多発しないように努める。誘引粘着シートを設置し発生予察する。

「ピタットトルシー」捕獲用 10a 200 枚 (3m に 1 枚の目安)、予察用 10 枚

* 混用例 水 → 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル剤 → DF → 顆粒水和剤 → 水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します。

トルコギキョウ農薬使用基準

	薬剤名	薬剤系統(一般名)	対象病害虫名	希釈倍率	使用回数	
殺菌剤	オーソサイド水和剤 80	キャプタン系	立枯病、茎腐病、苗立枯病	600 倍	8 回以内	
	リゾレックス水和剤	トルクロホスメチル(有機リン系)	立枯病(リゾクトニア菌)、株腐病、白絹病	500 倍～1,000 倍	5 回以内	取り寄せ
	ユニフォーム粒剤	アゾキシストロビン、メタラキシルM	立枯病(リゾクトニア菌)	18kg/10a	3 回以内	
	ゲッター水和剤	ジエトフェンカルブ、チオファネートメチル	灰色かび病	1,000 倍	5 回以内	
	トップジン M 水和剤	チオファネートメチル	菌核病、斑点病	1,500 倍	5 回以内	
	ポリオキシ AL 水溶剤	ポリオキシ複合体	灰色かび病、うどんこ病、黒斑病、アザミウマ類、ハダニ類	2,500 倍	8 回以内	
	ピクシオ DF	フェンピラザミン	灰色かび病	2,000 倍	4 回以内	
	フルピカフロアブル	メパニピリム	灰色かび病	2,000 倍～3,000 倍	5 回以内	
	アフェットフロアブル	ベンチオヒラド	灰色かび病、うどんこ病	2,000 倍	3 回以内	
	セイビアーフロアブル 20	フルジオキソニル	灰色かび病	1,000 倍	4 回以内	取り寄せ
	トレノックスフロアブル	チウラム(ジチオカーバメート系)	灰色かび病	500 倍	6 回以内	
	ダコニール 1000	TPN	斑点病、うどんこ病	1,000 倍	6 回以内	
殺虫剤	ロムダンフロアブル	テブフェノジド(昆虫成長制御剤) IGR系(脱皮促進剤)	シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ	1,000 倍	2 回以内	取り寄せ
	ノーモルト乳剤	テクルベンズロン(昆虫成長制御剤) IGR系(キチン合成阻害)	ヨトウムシ類	2,000 倍	2 回以内	
	オンコル粒剤 5	カーバメイト系	アザミウマ類	6kg/10a	3 回以内	
	劇 アドマイヤーフロアブル	ネオニコチノイド系	アブラムシ類	2,000 倍	5 回以内	
	劇 モスピラン顆粒水溶剤		アザミウマ類 2,000 倍 アブラムシ類	2,000 倍～4,000 倍	5 回以内	
	アルバリン顆粒水溶剤		アブラムシ類、コナジラミ類	2,000 倍～3,000 倍	5 回以内	
			ハモグリバエ類	1,000 倍		
	アクタラ顆粒水溶剤		ミカンキイロアザミウマ	1,000 倍	6 回以内	
			ハモグリバエ類、コナジラミ類	2,000 倍		
	アディオン乳剤	ピレスロイド系	アブラムシ類 2,000 ～ 4,000 倍 ヨトウムシ類、カメムシ類	2,000 倍	6 回以内	
	劇 スカウトフロアブル		アブラムシ類 アザミウマ類 2,000 倍	2,000 倍～3,000 倍	5 回以内	取り寄せ
	劇 テルスターフロアブル		ヒラズハナアザミウマ	4,000 倍	3 回以内	取り寄せ
	トレボン乳剤		ハスモンヨトウ	1,000 倍	6 回以内	
	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート	ハダニ類	1,000 倍～2,000 倍	6 回以内	取り寄せ
	アフアーム乳剤	マクロライド系	ハモグリバエ類、オオタバコガ、ヨトウムシ類、アザミウマ類 2,000 倍	1,000 倍	5 回以内	
	プレオフロアブル	ピリダリル	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、(アザミウマ類)	1,000 倍	4 回以内	
	劇 コテツフロアブル	クロルフェナピル(呼吸阻害剤)	ヨトウムシ類・ミカンキイロアザミウマ、ハダニ類	2,000 倍	2 回以内	
	オルトラン粒剤	有機リン系	アザミウマ類、アブラムシ類、ヨトウムシ類、アオムシ(水和剤のみ)	3～6kg/10a	合わせて 5 回以内	
	オルトラン水和剤			1,000 倍		
	スミチオン乳剤			アザミウマ類、ハマキムシ類		1,000 倍
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	コナジラミ類、アブラムシ類	4,000 倍	4 回以内		
ディアナ SC	スピノシン系	オオタバコガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類、コナジラミ類、クロバネキノコバエ類 2,500 倍	2,500 倍～5,000 倍	2 回以内		
アクセルフロアブル	メタフルミゾン	オオタバコガ	1,000 倍	6 回以内		
ヨーバルフロアブル	ジアミド系	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	2,500 倍～5,000 倍	3 回以内		

展着剤 果樹栽培者は、ブレイクスルー に代えて ササラ 3,000 倍 でもよい。

当防除暦の複製・コピーを禁止します。